　弘前城は、津軽統一を成し遂げた津軽氏により、１６０３年に計画され１６１１年に完成した城です。完成後は、津軽氏の居城として廃藩に至るまでの２６０年の間、津軽藩政の中心地となっていました。天守は１６２７年に落雷により焼失しましたが、１８１１年に再建されたものです。江戸時代に再建された天守としては東北地方に現存する唯一のもので、重要文化財に指定されています。

　また、１８９５年には弘前公園として市民に開放され、１９５２年に史跡に指定されています。明治末期頃には市民による桜の寄贈が盛んに行われ、現在ではソメイヨシノやシダレザクラ、八重桜などが春の園内を埋め尽くし、全国有数の桜の名所として知られています。